

広報 **ENIWA**

特集

自治を問う

私のふるさと恵庭

[助産婦さんが奮闘した
5.5歳のジャンボ赤ちゃん]

フレッシュさん

[念願の漫画家デビュー
17歳の犬型新人]

私のお気に入り

[風花窯で陶器を焼く]

11
NOVEMBER
1994



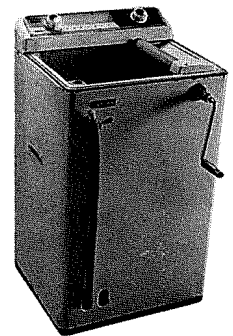
特集

自治を問う

今年二月三日、前市長が収賄容疑で逮捕。その後
 の九十八条、百条委員会の設置。
 惠庭市は、かつて経験したことのない事態に直面
 している。今、あらためて行政や議会のあり方が
 問われているのだ。そして実は、私たち市民もま
 た問われていると言わねばならない。自治の主体
 は、まぎしく私たちが、市民だからである。今私
 たちは何をすべきなのか、自治の意味を確かめな
 がら、考えてみたい。



お母さんと一緒の
お洗濯



暮らしに役立つ情報がいっぱい

えにわ生活体験学習館

開催日時・11月5日 10:00~18:00 場所・市民会館

ゼネコン汚職で次々と逮捕者がでた。どこか遠いところの話だった。しかしそれは、恵庭にもやって来た。

一月一日から二日にかけて、恵庭はドカ雪に見舞われた。翌二日も雪は止まず、誰もが「また除雪か」と、いささかうんざりしていた。その夜、テレビは、浜垣実・前市長が取附容疑で逮捕されたことを報じた。前年の、公共工事の発注をめくり、自治体の長がゼネコン（総合建設会社）からワイロを受け取るという事件が続発した。いわゆる、ゼネコン汚職事件である。佐川急便事件を捜査していた東京地検は、巨額の裏金疑惑のあった金丸信・前自民党副総裁を一九九三年三月六日、脱税容疑で逮捕した。これがゼネコン汚職事件の発端となる。このときに押収した資料を分析するうちに、政界に対するゼネコンのヤミ献金疑惑が浮上してくる。

その年、六月から九月までの間に、自治体の長が四名逮捕されるに至って、もはや多くの人が、自治体の長とゼネコンの贈収賄はどこ自治体でもあるのではないかと思いはじめていた。それでも、その時はまだ、よもや恵庭にこんな事件が起きようとは思ってもよらなかった。遠い本州の自治体の出来事。選挙の時、お金を配るのももろもろのも当然と思っているような市町村の話。そっと思っていたのだ。しかし、それもつがの間、市内の砂利採取業者から、浜垣前市長が五百万円を受け取ったという報道があった。二月四日、この日も雪は降り続いた。午後ふだん見慣れない人たちが、市役所の中に大勢いた。新聞やテレビの記者、カメラマン、道警などの捜査員、カメラの放列のなか、家宅捜査が行われた。捜査は、五日前警察過ぎまで続いた。この日、家宅捜査に入った捜査員三千名。押収された資料は、千五百九十冊、ダンボール箱で約五十個。

この日を境に、恵庭市は新聞紙上の普通になる。二週間後には、一度目の家宅捜査。その後の前市長の再逮捕。また一方では、前市長の一連の疑惑に加え、市保健センター建設工事の入札にかかわる現市長の「二天の声」疑惑が議会で取りざたされた。九十八委員会が設置され、それに引き続き自委委員会が開催される。ここでの証人喚問のやりとりは、逐次、新聞やテレビで報道されている。

ある新聞記者は言う。「もう恵庭のことを『聞いて』などと言わねばならないですね。一連の事件で『えいむ』は、すっかり有名です。皮肉ですなね」。

人口が増え、急速にまちのエリアが広がる。昭和五十年代から、公共工事は自白押しとなる。



▼明治39年5月、初の村会議員が誕生

恵庭市役所のルートである「戸長役場」がつくられたのは、明治二十年。「恵庭開基」の年でもあり、平成九年には百年の記念すべき年を迎える。本格的な開拓は、明治十九年の山口県からの集団移住以降で、その後、村は農業を基幹産業としてゆるやかに発展する。しかし敗戦後、古くから陸軍演習場が立地していた経緯もあって、恵庭は新しい基地のまちへと変貌していく。昭和二十五年の北恵庭駐屯地の誘致に続いて、

問われていくものは、

市政・市議会だけじゃない

有権者もだ。

▼恵庭のもうひとつの顔「自衛隊」



南恵庭駐屯地、北海道地区補給処、三十年には東恵庭通信所（現在は千歳市に移転）が設置され「自衛隊のまち」の様相をいつそう強めていく。恵庭に新しい顔が誕生したのは、昭和五十五年の恵み野住宅団地の分譲である。計画的なまちづくりを目指した恵み野は、恵庭の人口増加に拍車をかけた。昭和六十二年、恵庭市は人口増加率で全道のトップに踊り出るほどの勢いだった。

しかし、人口が増加し、まちのエリアが広がると、各種の施設づくりのテンポも早めなければならぬ。下水道、道路をはじめとする公共工事、図書館や社会教育施設の充実が急務とされ、昭和五十年代（ころ）から今日まで、予算の大きな各種建設事業が、言わば目玉事業として進められてきたとも言える。

単なる施設づくりじゃいけない。どれだけ多くの市民が、施設づくりに参加したかが問われはじめてくる。

大消費地札幌と北海道の空の玄関千歳国際

空港のほぼ中間にあつて、道央圏の中核都市として発展する恵庭市、それを物語るように広報誌に掲載された市長の年頭挨拶文には、毎年、多くの施設づくり、企業進出が盛り込まれている。昭和五十五年以降、事業のうち大きなものをあげてみよう。国鉄恵み野駅誘致、総合体育館落成、恵庭テクノパーク分譲緑のふさと森林公園開園、J・Rサッポロピール庭園駅誘致、郷土資料館開館、市立図書館開館。それは前市長の強力なリーダーシップと行政手腕として、多くの市民が認めるところでもあった。

ある市民（七十歳・女性）は、こう言う。「恵庭が今日ここまでできたのは、浜垣前市長によるところが大きいです。日本の経済でいうと高度成長期が浜垣さんの時代で、あの事件がなければ銅像が立つ人ですよ」。

しかし一方で、今までの施設づくり中心のあり方に疑問の声もある。

下島松在任の梅村芳樹さん（五十八歳）は、次のように話す。「まちづくりの基礎としては、確かに多くの施設をつくり、市民の利便性を高めることはいいです。でも、施設は単にお金をかけて、りっぱなものをつくればそれでいいとは思わないんです。私なんかは、なるべくお金をかけず、ある意味では利用するのに支障のない建物であればいいと思っています。事業者にはうまい味はないで



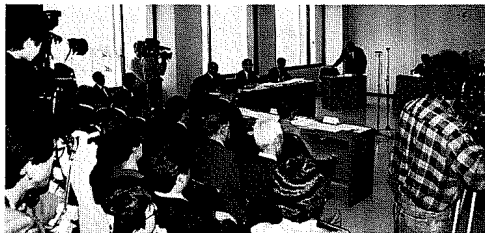
▲まちの発展に伴い、施設整備が急ピッチで進められた

市や議会の情報が市民から遠い。普段者の情報・議会・市政。市民が主役とは、そういうことだ。

平成五年十一月、公共事業発注や市政に対する疑惑など、八項目について地方自治法第九十八条に基づいて公共事業審判調査特別委員会がつくられ、十八回にわたる審査を重ねた。しかし審査結果は、広報八月号のお知らせ版で報告したとおりである。

市民の一人（六十八歳・男性）は、審査結果について、次のように話す。「提出された資料だけでは説明できなかった」という結論だが、それにしても、すっかりしないです。市議会でのお知らせでも、この種の委員会情報でも、結論をただ広報誌に載せて、それで

北海道大学法学部教授
山口二郎氏



▲百家委員会は、現在も継続中である

よしとする考えは一方的です。結果ではなく、どんな審議過程だったのか、私たちが知りたいのは、まさにそこなんです。そういう観点からも、市議会の情報は必要なんです。検査書類のほとんどが押収され、九十八条の検査があくまでも事務文書・計算書といった書面検査に限定されていることも、確かに検査を制約した。

ならぬ」というものだった。前市長時代の公共事業についての疑惑解明、さらには現市長に対する公共事業発注疑惑について、平成六年八月十一日臨時議会で、地方自治法第百条に基づいて「公共事業に係る天の声調査特別委員会」をつくり、現在も継続中である。恵み野で羊草店を営んでいる内倉真裕美さんは、次のように話す。「どこか目撃か、新聞で市政の混乱の記事を讀むたびにやりきれない気持ちになります。同時に、私たちが自身が一市民としてきちんと市政とのかかわりを持っていかなくてはだめだ」という気がします。ただ、そのためには市議会の情報は、私たちがからかなり遠いところであって、ストリートに内容が伝わってこない。普段者のも

のではないですね。このへんから受けていかなければ、有権者から見放され無関心層をさらに増やすことになるのではないかと思っています。市議会のパッチを付けている人は偉い人という感じを、市民も議員さん当人も感じているような方をよく見受けませんが、そこがまずおかしい。それこそ普段者の人になつていないんですね。市議会から流れて来る情報がよく見えない、わからないということを感じたたびに、市政や市議会と私たち市民との溝はとて

深く、埋めるのは難しいなと弱気になってしまふんです」

市政の浄化、市民参加のためのシステムづくりも、一方では徐々に進んでいる。

平成六年四月一日、全職員に「綱紀厳止について」の文書が出された。一週間後、業者に対して、虚礼廃止と来庁の際の応対や名刺はカウンターで受け付ける旨の文書を送付した。しかし、今回はこれで終わりにしなかつた。中元・シーズンを迎える前に、再度、職員と業者あてに文書を出した。宅配などで贈られる贈答品の返品マニュアルを作成する一方、職員課が本人に代わって送り返すことも行つた。市への贈答品は大幅に減少し、持ち込まれた物は全て送り返した。

総務部長は言う。「職員が仕事で行つたことにお礼や弁当など全く必要ないのです。悪しき慣行は毅然とした態度で正さなければなりません。今がまさにその時期なんです」情報公開制度、入札・契約制度、政治倫理条例も検討されている。情報公開制度は、「市が保有している情報は、市民共有の財産である」という認識にたち、市民共有の情報を市民のみならず必要時に利用できるよう保障する制度である。恵庭市においても情報公開制度懇話会の提言を受け、今年十一月には、条例案を議会に諮り、平成七年四月以降、ファイリング（新しい文書整理）が全庁的に整いだし実施していく予定だ。入札・契約制度や政治倫理についての検討

も重要な課題となった。入札・契約制度は、平成六年度中に、恵庭市の実情にあった制度の改正、新しい入札方式の導入を図ることになっている。末広町で建築会社を営む相沢和利さんは、「市内業者も『言』依存から少しづつ脱していかなければなりません。そのため、きちつとした積算能力を身につけ、コストダウンしていく企業努力も必要です。そして、ネットワークを使い、知恵を出し合うことが大切なんです」と話す。

元氣な市民の時代がやってくる。地域や職域を越えたネットワークで、行動を起こす時期だ。

先月、ニセコ町で道内初の三十歳代の町長が誕生した。この選挙について恵み野在住の北海道大学教授、木佐茂男さんは、次のよう

に分析する。「この選挙は、金もない、組織もない、まったくの『草の根選挙』でした。ふつと、選挙では組織票というものがありますが、その組織内部の腐止めがなくなつた。組織の決定どおりに投票しない、そういう自立した有権者がかかりたいということです。これは、家族にもいえます。お年寄りや女性も、世帯主から自立しはじめているんですね。そういう意味では、かつて革新自治体が華やかだったことは質的に違つた。元氣な市民の時代が訪れたということなのでしょう。」

日本の地方自治は、制度はけっこう先進的ですが、現状は後進的だ。戦後の憲法でタナボタ式に手にしたので、市民にも市役所職員にも自治の自覚が乏しい。主体が市民であるという認識が足りないのです。そういう意味で、ニセコのケースは、自治のあるべき姿を示してくれています。恵庭におきかえて言えば、まず市民も職員も、行政・議会の仕組みやプロセスを透明なものにしていかなければならぬ。そのための勉強が必要なんです。情報公開制度ができたなら、市民は積極的に利用する。職員もそれによって鍛えられる。外の優れた人たちとネットワークもつくる。より自治を生かしている例も積極的に学ぶ。そういう地道な勉強が必要なんです。ニセコの町長が公約したのは、ものづくり、もの配りではなく、町民で地方政府を運営していこう、というものでした。地域とか職域を越えた、相互乗り入れネットワークに集まった市民が、自分のために、自分たちの手で、身銭を切って情報収集や選挙を行う。こういうことが恵庭でも、もうそろそろ始められていい時期な

のかもしれない」

今回の事件を契機に、今年の春、市内で二度連続して「市民自治」の討論会があった。主催したのは恵庭まづくりデザイン会議。職業や年齢を越えて結果した。まづくりを考える市民団体である。講師は、北海道大学の山口二郎教授、同じく神原勝教授、そして元東京地検特捜部でロッキード事件を担当した堀田さんだ。この時のようすを堀田さんは「若いも若きも自分たちの町を盛りたてたい」という意欲で、目がきらきらしていた。その熱気を感じながら、このまちは若いと実感した」と新聞に書いている。参加者の政治浄化への思いは、それほど熱いものでなければ」といふ、自治の基ともいえる思いを起こさせたのかも知れない。

そういう思いに対し、山口教授は講演の中で、「恵庭で腐敗が結出、大変ゆいしい問題になつたわけですが、考えようによっては、腐敗は表に出る方がまだ健全」と前置きし、次のようなエールを送っている。「歴史を振り返ると、最初からクリーンな民主政治は、世界中どこにも存在しない。つまり、腐敗が起こり、それに打ち勝つことで、どの国もデモクラシーが前進してきた。腐敗の問題は、正面から取り組むチャンスを持っているのは、将来を先取りするとうか、日本のなかで真っ先に健全なデモクラシーを築く一番のポータル・ポジション（出発点の最前列）を取つたと思えばいいわけです」

人口六万一千八百八十七人、有権者数四万五千四百九十四人（平成六年九月一日現在）の恵庭。今、新しい市政参加の模索が始まりつつある。

いま、市政に 求められること



- 出席者 村上 利雄 小説家 (泉町)
- 田中 美穂 ピアニスト (恵み野)
- 浅野 フミ テレホン相談員(中島町)
- 和田 文江 消費生活相談員(柏木町)
- 原田 裕 旅館主 (島松東町)
- 若濱 五郎 大学教授 (恵み野)
- 近藤 春夫 コラムニスト (柏陽町)
- 司会 林 嘉男 広報広聴課長 (敬称略・順不同)

汚職を防ぐには、市民が自治意識をもち 市政の監視の目を強めることだ

司会 最初に原田さんにお聞きしますが、デザイン会議で、堀田力さんと山口二郎さん、神原勝さんを講師に招き、とてもいい講演を企画されましたが、その意図と市民の方の反応についてお話しください。

原田 デザイン会議自体は、市民がもっと、まちづくりに関心を持ちながら、いろいろ勉強し合おうという主旨でつくったわけです。

そんな中で、「恵庭汚職」という事件が発生し、私たちの会議として、何らかのアクションを起こさなくてはと考え、「腐敗防止と政治参加」をテーマに、三回の連続した講演会を、それぞれ百人以上の方に参加をいただいて行いました。全国いろいろなところで汚職事件が発生していますけども、市民の立場か

らどんな図書館をつくればいいのかわつてね。でも、そこにきてきた議員さんは一人か二人しかいないんです。今回も、これだけ大きな問題になって、議員さんも真剣に取り組まなければならぬ。それなのに、この種の講演会に出てきたのはせいぜい四、五人と聞いていますが、そういう議員さんの認識にも疑問が生じます。思いつくままだに話しますけど、たとえば市民の声を聞くために諮問委員会というものをいろいろやりますよね。市は、初めから終りまで一回も発言しない人を選んでるのはないかと疑いたくなるんです。ある諮問会議に出席したときに、選別肢が三つあって、そのどれに決めるかという会議があったんですが、市側は一つしか説明しなかった。市としては、これにしたいと思ってるんです。委員のみなさんの意見を聞かせてくださいと言っているから、「どうやって検討したらいいんだ」と私は言っただけです。三つ案があるのなら全部説明してもらわないと選びようが無いです。最初から、自分たちはこういうふうにするから、委員の人はイエスマンでいいという風潮はありはしないか、そんな問題が市の方にあるような気がします。

近藤 百条委員会の開催日も、新聞で見ただけで、いつやるのか分からないときがある。ああいう委員会こそ市民に聞いてほしいね。議会の一般質問は、普通、議員が質問を事前に出して、それに対する答弁書があって、やり取りするわけだけど、百条委員会はぶつつけ本番だから、資質や見識がよく分かる。だからたかさんの人が、見るべきだと思う。ところが部屋自体が狭く、傍聴人を十五人と制限している。あれはおかしい。みんなに聞かせるのなら、大きい部屋でやって公開すべきだと思っ

有権者として、あんないい判断材料はないんじゃないだろうか。



原田 裕 さん

若濱 百条委員会の話ですが、私たちは時々、新聞紙上で見る程度です。現市長が、一人の市民に意見を聞いたというの、明らかに誤解を招



和田 文江 さん

くんで、確かにまずいと思います。でも、本当のことをいうと、いつまでも、長々とやっていると、そろそろびつと決着をつけてほしいですね。そして市民のためにプラスになることをやってほしい。マイナス面を明らかにすることも大事だが、ほんとうに今の市長と議員がけしからんと思う人は、次の選挙で降りていただきたいようにして、今はもっと前向きで建設的なことをやってほしいと思います。

市民意識でも「かおり豊かな文化のまちをつくりましょう」と言っているんです。こんないいことが書いてあるんですから、これに向かって、どんな、いいことをしてほしいというのが私の意見です。

浅野 私は恵庭は長くて、浜垣さんも昔から知っています。今回の事件は、とても恵庭のイメージを悪くしてしまっただけですが、前市長ひとりに責任があるのではなく、周りの人、市役所の人にもあると思うんです。それと議員さんなんですけど、一度、議会を傍聴に行ったときとても驚きました。議会はもっと厳格な場であると思っていたのに、ある党が質問すると、初めから聞こえなくなりました。質問しようとする、大きな野次が飛ぶんです。それまで、とても良識のある人だと思っていたんですけど、これを見て、議員はなんて不真面目なんだろううと思いました。反対意見は反対意見なりに、もっと真剣に聞くべきなんです。

それと、選挙のとき、どなたが立候補しても選ぶ不安がないんです。ほとんどの人が、抱負を述べたのを聞いたことがないんです。だからといって投票を棄権したことはありません。終わつたあとは、これだけのかしらと、いつも思いますけど、田中、私もまた、一年ちょっとしか住んでいないんですが、初めて恵庭に来たときに「本当に素晴らしいまちだ」と思っただけです。

こちらに来てすぐ、デザイン会議の一回目に参加させていただいたんですが、自分たちのまちをどのようにしようかと話し合うことは、大きな都市では難しいと思うんです。いままで住んでいた市は人口が何十万という都市で、自分が何かをしようとしても、反映させることは難しいですね。それで、とてもい



近藤 春夫 さん

い所にきたな、と思つていたんです。
最近ようやく分かつてきたんですが、やはり自分たちの土地で農業などをされている人は、市のことに對して土地に對しても関心があるんです。でも恵み野に住んでい

る方は、札幌に通勤されている方が多く、恵み野に寝に帰っているような感じで、すごく関心が薄いんだなと思つています。
新聞記事だけでは、よく分かりませんが、今、行われている百条委員会での話も、読んでいて情けないことが多くて、「初登壇の日、緊張してたから、あんなことを言つた」だなんて、ちょっと理解できません。あんなことが新聞の一面に出ている場合じゃなくて、これだけのエネルギーがあるまちなのですから、早くこの問題を解決してほしいと思つています。

多選は腐敗の土壌を生みやすい。 市政のご意見番は、市民会議のような組織がいい。

近藤 汚職の語だけだと、市民も業者も泥にまみれたんです。それは過ぎたことだ。しかし、反省の材料として記憶していかなければならぬ。今の百条委員会は、汚職になりそうな悪い芽を摘んでいるのです。どう決着するかは分からないが、議会にも執行機関にもけん制になるわけだから、最後まできつちりとやるべきだと私は思っています。

原田 今の百条委員会のやっている成果は、とても大きいと私も思っています。なぜかという、建設の入札について、役所の職員が予定価格を示唆していたんだ、ということが議会の議事録に載つていて、これは、どこのまちなにもないと思つています。市民の間でも、ああいった事実が出た以上、これからどうしたらいいんだらうと考える必要はないんです。これまで、利



田中 美穂 さん

権に絡んでいっているのは市民の中でもごく一部なんです。例えば、自分の子供を市役所に入れさせた人とか、そこから仕事をもらった人とか、本当に一部なんです。その一部の人たちによって起こされたこの汚職が、私たちの住んでいる恵庭のイメージを変えてしまうことになって、私たちは悔しいわけです。入札制度の改善にしても、ふだん、汚職に全く関係ない市民が参加するようなシステムづくりが大切だと思います。

村上 次の選挙がある時には、前の選挙の時に、どのような公約を立て、それに対してどのような努力をして、成果はあったのかどうか。また、前の汚職の時に、あなたは改善するためにどんな努力をしたのか、などについてデザイン会議あたりで質問状を作つて、議員全員に回答してもらつて、そのようなことをやつて、ほんとうにどの人が良いのか判断することも必要だと思つています。

若濱 前市長だけが悪いんじゃないで、容認していた市議会議員の人たちにも、責任の一端はあります。

私は、選挙で選んだ市長や市議会議員がちゃんとしていて、一番いい方法を考えてくれると信頼しているわけです。毎回、市民の声を聞かせてくれなると言われたら、そんな暇はありません。選んだのだから、信頼を裏切らないでほしいと言いたくなります。

また、四選・五選は、確かに長すぎます。一人の人が、四期十六年もやつていたら、当然ワンマンになるわけです。すると周りの人はオドオドするし、本当は知つていても、見ない振りをするわけです。歴史の教訓に照らしてみても、権力を持ち、ワンマンになつたらもう終わりです。防ぐ方法としては、多選禁止もありですが、徳川家康の側近で、大久保彦左衛門のようなご意見番がいないと、うまくいきません。しかし、市役所ではそういうわけにはいきません。市議会も長いと馴れ合いになつてしまいます。そういうことから、デザイン会議のような組織が、その役割を担うのは、いい考えたと思つています。一



浅野 フミ さん

般市民も市議会議員も行政の人もメンバーに入つているし、それに青年会議所の若い人たちが中心になつている。今後、うまく機能させていけばご意見番として期待できると思つています。

司会 市としても綱紀粛正を二回出し、入札の制度も改善するような運びになつています。その改善方法についても、市民が行政に参加できるシステムのひとつとしての情報公開や、さらには政治倫理懇話会など、不祥事が起きる土壌を生まないような制度をつくりつつあります。これに関連して、付け加えたり、こうしたほうがいいという意見はございませんか。

近藤 職員に対する通達を、いろいろ出したようですが、結果はどうでしたか？

司会 届けられた人が送り返すのですが、品物が届くこと自体なくなつたと聞いています。

村上 入札の方法を検討しているようなんですが、その方法が、誰でも自由に入札に参加できるようになつたと思います。ある大手の建設会社の方に聞いたんですが、例えば自分のところで一億のものを五千万で落札し、二年間続けると、大手は耐える力がありますが、地元は耐えることが出来ないのではないかと聞かれました。

司会 その辺の課題も残されているでしょうね。

市職員は、単なる長の補助機関ではない 自立の思想をもつ市民でもある。

司会 私も二十五年間、市職員として働いてきて、宮仕えといふような体質が、どこかであったことを否定できないのですが、そのあたりはどうですか。

原田 市職員は、市長に雇われているのじゃなくて、市民に雇われている意識を、常々持つ必要があります。以前から、税務

課の職員を経験すると、税の徴収などで納税者の意識が分かれ、他の部署に移つても、この経験が生かされると言われています。村上 市職員は、市民のサービスのために存在するのだから、公務員ではなくて、サービス業だと思つています。しかし、実際は公務員という意識が強く、宮仕え的発想になるのです。出雲市は、市民サービスが徹底しています。市職員も議員もそのように、研修に行つたらどうでしょうか。

浅野 長い間役所にいるうちに、いつの間にか職員も市民サービスを忘れてしまふんじゃないですか。町内会でも自衛隊員は非常にサービス精神が旺盛なんです。しかし、市職員の場合、何か役をもちつて一生懸命する人は、一部の人のように思っています。司会 先ほど若濱先生より、今はマイナスのことばかりやつている、もうそろそろプラスのことをしなければだめだ、という意見がありましたか。

近藤 今、この座談会をやつていること自体、考えられないことだよ。こういう会を多くやつていけば変わる。これからがスタートにしなければだめだよ。

浅野 市の中には一回計画を立てたら、聞こうとしないところがあるんですよ。みんなの声を聞いたら時間がないとかだね。「私たちは全部のことを考えてやつていける」「今後便利だから」「こういう計画になつていける」「一占張りなんです。やっぱり、意見も出しづらいですよね。

村上 それはありますよね。施設づくりに対する説明会とか、一般市民の質問があつたんですが、それに対して「市としては考えていません。こういうふうになります」という回答なんです。それでは、そのあと何も出てこない。



若濱 五郎 さん

司会 選択肢があるべきなんです。計画する段階で、利用する市民のみなさんの意見を、まづ聞くことなんです。原田 市民参加といつても、行政に参加するとか、市役所に意見を言うなどというのが一般的ですけれど、実は市民参加には、



村上 利雄さん

市民同士の議論もあると思うんですけど。例えば、図書館をつくるより保育所がほしいとか、道路を直してほしいとか。そういった市民同士の意見交換の場があって、それから、道や国の情報を知らせながら、どういった施設にしようか、折り合いを付けていく、そういう形も市民参加じゃないかと思っています。

利害関係だけの選挙はだめ。地域や職域を越えた候補者選びが市政を変える

浅野 市議会議員を選ぶ時、もう少し抱負なんかを聞きたいと思うのですが。情報量も少ないし、判断材料も乏しいんですけど、だから、新しく恵庭市民になられた方の投票率が落ちるのも、そのへんにあるのかもしれない。

村上 デザイン会議が主体となつて、公開質問状を出し回答をもらって判断の一つとする。ぜひ、考えてください。

原田 立候補しようとする人の努力も必要なんじゃないですか。もう一つは、まちづくりを語り合える場は、広く呼びかけて、いくらかでもつくれるわけですから。最初は三人でも四人でもいいじゃないですか。その中で、自分の考えを話して、会員を増やしていけばいいのです。そういう、日ごろの努力が、この人に投票してやろう、ということになってくるのではないのでしょうか。もちろん、議事を傍聴することも投票の意思決定には必要だと思います。

和田 血縁、地縁が多い議員の方は、心配ないのですが、本当に市のために思っている方が、自分の意見を広く聞いてもらえる場を、ぜひ、つくっていただきたいものです。

浅野 世の中の半分は女性なんだから、ぜひ、女性の議員も出してほしいんです。そのための応援はします。女性は男性よりも、先が見えないのかもしれないけれど、率直なんです。また、

男性のようなするさもないと思うのです。女同士でも足を引張るんですけど、男同士は相手の批評をあんまりしないんです。そこから、腐敗の土壌のようなものが生まれることだってあるんです。

司会 議会にテレビカメラを入れてほしいという要望も強いんですね。また、浅野さんが言われた、選外側に情報量が少ないという声も、新住民の方からは聞いております。最後にみなさん、一言ずつお願いします。

田中 私なんか住んで二年しか経っていないのに、このような場に出させてもらって嬉しいんですけど、ぜひみなさんでできることから、まじめにやってみようと思います。

浅野 私も、傍聴者として見てきた部分が随分あります。だけれども、恵庭で成長させてもらったことを感謝して、このまま傍聴者でいいのかと改めて反省しています。

和田 十一月四日に、女性議会を行います。これは、個人の意見ではなく、団体の希望を訴えるということで、こんな恵庭にしてほしいという観点で質問や発表をするんですけど、それを単なる議会経験の場にするのではなく、こういう声を実際に取り上げていただきたいと思っています。

若濱 今日はどうも、勉強になりました。私は恵庭では新人ですが、まだ議会にも行ったことがありません。女性の議員が一人もいないことを初めて知ったのですが、三人くらいはなんとか出てほしいですね。すると、かなり違ってくるんですけど、先ほどのご意見番ではありませんが、デザイン会議はその点、いい組織なので、そのようなところから、何人も選出してほしいと思っています。それが新しい恵庭をつくることになるのではないのでしょうか。

原田 新聞に堀田力さんの記事が載っていました。「恵庭は素晴らしい街だ、いい街だ。そこで、若者が汚職を真っ正面にとらえて、このような会議を開いて」と書いていました。うれしくて、その記事を持ち寄って、みんなどうも酒を飲んだんです。エールを送ってくれたんですから、それに応えていかなければいけないと、みんな確認したんです。

近藤 今日の会を、この内容で広報誌に掲載できるとしたら、

評価しますよ。
村上 先ほどから、議員の悪口を言っているように聞こえたかもしれません。でも悪口ではなくて、こういう時なので、特にしっかりとしてほしいことと、逆に、いい機会なのだからこれを契機にして頑張してほしい。また、なぜ自分は市議会議員に立ったのか、原点に戻って考えてほしいという願望を込めて言っているんです。もう一点、正直に言つて「広報にわ」では、

■市政や市議会の混乱の報道を、新聞やテレビで見ているだけでは、何が正しいのか、さっぱり市民に伝わってきません。
■新聞で、広報誌が現在の市政の問題を特集するという記事を読みました。おおいにやるべきです。私も祖父が明治中期に恵庭に来て以来お世話になっているんですが、恵庭の市政、こんなことではだめです。どうすれば良くなるのか、一緒に考えましょう。

■出張が多い仕事なんだけど、どの街に行っても「おつ、恵庭から来たのかい。毎日のように新聞に載つて、たいへんだね」と、この一年くらい、必ずこの問題の話になる。恵庭で生まれ育った者にとつて、会話のきっかけ

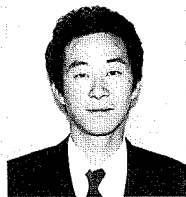
（男性・北島在住）

友だちにも話してんだけど、この事件が解決するまで、道民税は払ってても市民税は払わんと」と言っていた。
これだけ騒がれると、そういう気持ちにもなるよ。こうなったら、出せるウミは全部出して、すっきりしてほしい。

（男性・恵み野在住）

意見あり!

まちの意見をひろいまちました。



大野 孝一さん (36歳・泉町在住)

私たち市民もしっかり議論するべきです

まず、選挙のあり方なんですけど、政策をきちっと持つて、その政策を中心に訴えていく、そんな選挙してほしいと思います。それと、やっぱり長期政権は

腐敗を招くんですね。ずっと無風状態にしてきた、私たち市民の側にも問題があったんです。
私たちに欠けていたのは、市政情報なんです。市も議員さんも、経過でいいから、もっと情報を出してください。でも、情報は待っていてもないんです。よね、自分で集め、発信しないが集まらない。そういう積み重ねが、議論の場をつくっていくし、そうやって、だんだん仲間ができて、自分たちの考えるまちづくりの提言もできるようならなると思っています。市民が立ち上がるっていうのは、そういうことだと思います。



小笠原美恵子さん (47歳・盤尻在住)

まち全体を視野に入れた人を選びたい

今の市政で起きていることが、複雑でよくわかりません。けれども、こんな状態になるのは、選外側、けれども、選挙民にも問題があると思います。

よく、町内会ぐるみとかで推薦したりするのを見ていても、何となくどこか違うと思うんです。もちろん、自分の地域や町内の環境整備なんかも大切ですが、けれども、選挙に入る人は、自分の地域の状態を視野に入れながら、なおかつ、恵庭のまち全体も見ることができ、そういう人でないといけないと思います。
そして選挙民の私たちも、恵庭のまちがどうあるべきなのか、そんな、まちづくりの議論ができる人を選ぶべきなんです。いろいろなおことに問題意識をもち、丹念に調べあげ、自分の考え方をもち、きちんと議論ができる人です。

※この座談会は十月十三日に収録したものです。

市民のみなさんの声

市民のみなさんから、たくさんの方が寄せられています。ここで、その一部を紹介いたします。



特集のその後

◎ 駅 10月1日号

好きな人と同じ列車に乗りたい
そんな出会いの描写がほしかった

「駅」の特集、興味深く読みました。全体の印象として駅前周回の細かい所まで、「ネクタイをした愛貨者」と言われようが、路上観察を試みて、良くまとまっていたと思います。

しかし、「特集 駅」とあるので、すから、読む者は、昔の、今の、駅の待合室でベンチに腰を下ろしているような気分にさせるものがあつてしかるべきではなかったでしょうか。その視点が、恵庭、島松、恵み野二駅とも全く欠落していたと思います。「駅」そのものが語られていないのです。

また、「ホッとする駅前とは」と検証する姿勢を最初に示しながら、読み終って、「ホッとする駅前とは」というあるべきか、という確かな形が見えてこないのも不満でした。

それで、細かなことですが、私の子供のころは、狸小路とかが札幌そのものでした。決して「憧れの大都市」といった大仰なものではなく、親しみある街だったので。多分その部分が「ホッとする」に重なると思うのですが……

「駅には数多くの出会いと別れがある」と書きながら、出会いの描写がありませんでした。私が中高校生のころ、好きな人と同じ列車に乗りたくて、その人が来るまで駅のベンチで待っていた。話をしたことは一度もないのだけれど、同じ列車に乗りたくて、そんな思い出があります。それは今の若い人たちにも共通するものではないでしょうか。

島松駅のところ、「不思議な建物」と紹介がありました。その不思議さを写真で見たいと思いましたがありませんでした。恵み野駅の階段を降りながら途中で街並みを眺めました。確かに

この街に、駐車場は似合いません。私は恵み野町に住んでいますが、恵み野駅を利用するときは、いつも自転車か、歩いて行くことにしています。恵み野の街並みに車は風景としてそぐわないことは確かです。ということでも「愛なきジサンの路上観察者」に全く同感です。

それで思うのですが、午後二時ころにネクタイをした中年男が駅前をブラブラしていた。誰だつて変に思うでしょう。これからは取材でキョロキョロするとき、せめてネクタイくらい取ったらいいでしょ。

最後になりますが、表紙もたぶん、駅を背景に写したものでしょう。恵庭駅だと思われるのですが、駅という字が肩の辺りにせられしく見えて、カメラアングル、モデルの表情、視線、モデルの位置、全てがバラスかたれていて良かったと思います。

ただし、所々にボツボツがあり

編集部から

まず号の特集に、まるで植草甚一のような、あくまでも自然体でありながら、鋭い指摘をいただき、ありがとうございます。

ただ、一つだけ反論させていただきますと、取材でキョロキョロするとき、ネクタイぐらい取りなさい、というご指摘ですが、それは、ネクタイ姿に輪をかけて不自然です。

最後の最後に、恵庭には駅が三つ、ビール園駅を入れると四つ。快速停車は難しい訳ですねえ。

市民ファクシミリ

FAX 32-1456

市長が、直接市民の話しを聞く「市長相談日」について、私が思ったことを書きます。

市長にとって、市民の声をじかに聞く機会というのは、おそらくそれほど無いと思います。ですから、こういう企画は大変いいことです。

でも私が思うには、そういう場で、個人的なレベルの話をしてはいけないということ。ひとの告げ口的なものや、自分の周りで起こる不平、不満、そし

て苦情。この相談には、そういう声がかかり多いのではないかと危惧しています。

私が以前住んでいたまちでも、同じような相談日を設けていたんですが、次第に相談内容のレベルが落ち、苦情処理のようになり、結局取り止めになってしまったんです。

だいたい市民の声というのは、一般的に苦情だと思えます。それを「恵庭のトップである市長に言ったら何とかしてくれる」。などと考えて来る市民もいるのではな

いでしょうか。そういうレベルのものは、わざわざ市長が相談に

然です。スーツ姿の男がネクタイを外すのは、その日の仕事が終わりで、ホッと一息入るときと相場は決まっています。それでママになるわけですね。

さて「ホッとす駅前とは」に関する考察がない、というご指摘でした。実は「これだ」というものを私たちが持ち合わせていないのです。でも、問題提起はしてみようということになりました。

今は、車社です。車は、「より早く、より速く」のための単なる道具ではなく、道のある方の行動、街のつくりまでも変えてしまいました。そして、道は車を中心にするにつくられ、車に乗る人は街並みを見失い、歩く人はわきに追いやられたのです。

「駅は、出会いやまちのたえずまいる象徴です。その駅や駅前をじっくり考察してみても、そこから、車社への反省としての、人社会の復権、例えば、明るい夜道、歩行者優先道、界わいを楽しむ、などを提起してみたいわけです。

ないと思えます。

あなたの声をファクシミリで

市政に関する提言・アイデアをお聞かせください。

- 様式に定めはありません。(住所・氏名・電話番号を記入してください)
- 郵送でも結構です。
- 寄せられた一部は「広報にわ」に掲載させていただきます。

問合せ先 / 広報広聴課(内線2234)

もしもし 広報ですが

33-3131(内)2233

信号無視は危険なので絶対やめてほしい

恵み野駅前交差点は、朝の出勤時間になると、赤信号を無視して、横断する人がとても目につくんです。それも、決まって同じ顔ぶれ。電車が遅れる、他の人もしていいからなど、理由はあるのでしょ

う。しかし、交通事故に遭う危険もあります。また、同じ時間帯に子供たちも通学しているのですから、目にするはずなんです。

大人は、子供のお手本なんです。心当たりの方は、絶対やめてください。また、見かけた人は、見て見ぬ振りせず、注意しましょう。

暮らしのお知らせ



記録を更新するのは君だ！ 恵庭ドミノ大会 催し

日時 11月12日(日)9時～
会場 恵み野小学校体育館
対象 小・中学生と親、または、友人グループ／各先着20組
参加料 無料
内容 (1)木製ドミノを使用し、規定時間での最多枚数に挑戦▼最多枚数を恵庭のギネスとして公認



学校が休みの第2土曜日、記

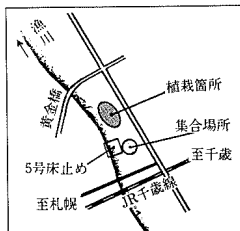
市民審判制定記念 小・中学生作文発表会 催し

日時 11月19日(土)14時～
会場 市民会館ホール
昭和45年に制定された市民憲章。これを記念し、今回は「ながいに尊重しあい、なごやかな家庭をつくりましょ」をテーマに、作文発表会を開きます。選ばれた8名が、自分の作品を読み上げます。

また、3世代同居の人間関係を考える映画「家族のますます」の上映も行います。高齢化社会を迎えつつある現代、家族がより良い関係を保ち、生活を営んでいく問題を取り上げた映画です。多くの方

緑あふれるまちが大好き 市民植樹 催し

日時 11月6日(日)10時～(2時間程度)
会場 漁川河川緑地(黄金北地志)



の参加をお待ちしています。問合せ先 交通生活課(内線2・52)

親子年賀状版画づくり 催し

日時 11月12日(土)10時～12時
会場 島松公民館
対象 小学校3年生以上の親子、中学生
定員 先着30人
持ち物 彫刻刀、新聞紙3枚
講師 藤 信栄(公民館指導員)

お正月に、手作りの年賀状を受け取るのとホッとする。そんな経験ありませんか。来年こそ自分の手で作ったものと考えている方、親子で挑戦してみませんか。問合せ・申込先 11月9日(木)まで、電話で市教委公民館(内線1772)または、島松公民館



市役所 ☎33-3131
島松支所 ☎36-8324
恵み野出張所 ☎36-8200
中恵庭出張所 ☎33-3681
市民会館 ☎33-3171
総合体育館 ☎32-2261
福祉会館 ☎33-9436
消防本部 ☎33-5191
図書館(本館) ☎37-2181
市民ファクソミ ☎32-1456

汗をかいて気持ちいい！ レクリエーション フェスティバル

月日	時間	内容
11月12日(土)	13:00～13:30	開会式
	13:30～15:00	実技講習会・チャレンジタイム ～バドミントン、スポンジテニス、インディアカ、3on3バスケット、パークゴルフ
	15:30～17:00	各種別大会 ～スポンジテニス、ミニバレー(一般)、3on3バスケット、パークゴルフ
11月13日(日)	9:00～11:30	アドヴァンティ ～PT合戦、長縄跳び、ダンス
	12:15～14:15	各種別大会 ～バドミントン、ドッジボール、インディアカ
	14:15～15:40	各種別大会 ～バドミントン、ドッジボール、インディアカ
	15:40～16:00	閉会式・表彰式

参加料 無料
好きな競技を、当日会場でお選びください。ただし、3on3バスケットボール、ミニバレー(一般のみ)は事前に申し込みが必要です。問合せ・申込先 事前申し込みが

年末調整説明会 税金

開催します
期日 11月28日(木)
会場 市民会館大ホール
対象・時間

対象	受付時間	説明時間
農業青色申告者	9時30分～13時	10時～12時
一般事業者	13時～15時30分	13時30分～15時30分
(法人)白包個人	13時30分～15時30分	15時30分～17時

必要なる競技は、11月10日(木)までに、市教委スポーツ課(内線1774)へ
税金の、年末調整を行う方への説明会です。従業員を雇用されている事業主、または給与担当者には必ず出席してください。資料は当日お渡ししますが、都合で出席できなかつた方は、後日、税務課へ

公売します 電話の加入権 生活

期日 11月10日(木)
会場 市役所3階第3委員会室



資料を受け取りにお越しください。なお、個人の青色申告者(営業・庶業)の決算説明会は、別に行います。問合せ先 税務課市民税係(内線1414・1415)

進めていますかりサイクル 再資源化開発事業等表彰 募集

財団法人クリーンリサイクルセンターでは、リサイクル運動を広めることを目的に「再資源化開発事業等表彰」を行います。これは、再資源化を推進している企業、事業団体を表彰するものです。応募してみませんか。

- 表彰の種類
 - ・通商産業大臣賞
 - ・通商産業省環境立地局長賞
 - ・励クリンリサイクルセンター会長賞
- 応募締め切り 11月30日(木)
- 問合せ先 清掃課リサイクル係(内線1133)



たかくら みゆふ
高倉美冬ちゃん
☆平成5年11月7日生
☆長女・1歳
☆白種町13-2

お父さん	お母さん
博人さん	政子さん
生まれたとき 53.0cm 3.620g	
今はこんなに大きくなりました 75.3cm 10,000g	

初雪が降った日に生まれたので、季節にちなみ「冬」を使う名前を考えました。その日も、雪がうっすらと積もり、とてもきれいでしたが、この子も、冬の景色のように美しくなりたいと願い、お父さんが「美冬」と命名しました。

おかあさんからひとこと



「病院に行くこともなく、健康に育っているので安心してます。お父さんが大好きで、車の音で帰ってきたのがわかるようなんです。ちょっと、やんちゃだけど、優しく素直に育ってください」

市営住宅情報 空室があります

受付期間 11月1日(火)～11月10日(木)
申込み・問合せ先 住宅課住宅管理係 ☎33-3131内線2482・2483

空室番号	団地名	種別	形式	構造	築年(内)	戸数	要申込
1	栢陽	1種	2DK	2階建	19,400	1	有
2	〃	1種	3DK	2階建	25,100	1	有
3	恵央	1種	2DK	平家	12,600	1	無
4	〃	1種	2DK	平家	12,100	2	無
5	〃	1種	2DK	平家	14,100	1	有
6	〃	1種	2DK	平家	8,400	1	無
7	〃	2種	3DK	平家	12,200	1	無
8	旭	1種	3DK	5階建2.4F	132,800	3	有
9	恵み野南団地	1種	3LDK	4階建2.4F	40,900	1	有
10	宮原	1種	2DK	2階建	7,900	1	無
11	寿第一	1種	2DK	2階建	7,600	1	無

第8回健康まつり

とき 11月5日(土)10:00～15:00
ところ 市民会館2階

講師 マスター・オブ・シェフ・フィッティング 木田 倫子氏
健康靴専門店 アルファ美脚

時間 10:30～

内容 あなたの足が危ない！～現代病…外反母趾～

★お楽しみ抽選会★
スタンプラリーとアンケートでステキな健康グッズを当てよう

問合せ先 保健課(1128)

- ・食と健康コーナー(体脂肪測定)
- ・お茶で健康とやすらぎコーナー
- ・体格・体力パソコン診断コーナー(先着300人)
- ・歯と健康、歯科相談コーナー
- ・介護用品展示、相談コーナー
- ・マタニティCDコンサート
- ・母乳育児相談コーナー
- ・頭の体操コーナー
- ・ストップ・ザ・たばこコーナー
- ・なんでも健康相談コーナー(内科、整形外科)
- ・エイズを知るコーナー

基本健康診査



保 健

検査項目 身体測定、血圧測定、検尿、肝臓、機能検査及び医師の判断により心電図検査等を実施

ご持参ください。問合せ先 保健課(内線1128)

犯罪捜査にご協力をお願いいたします。犯罪を一つ



問合せ先 千歳警察署刑事課 ☎23-2151

図書館に 10月に入った新しい本

- 文学 午前0時の忘れもの(赤川次郎) 流れ星の(大沢啓子) 夢に殉ず(上・下)(中野博行) タイムスリップ・コン(中野博行)

海上保安庁では船艇職員などを募集しています

Table with columns for Job Type (職種), Recruits (募集人員), and Qualifications (受験資格).

応募締め切り 11月18日(金) 試験日 1次▶11月27日(日)、2次▶11月28日(月)

日米共同統合演習が行われます

11月8日から17日までの間、北海道大演習場を会場に、日米共同統合演習が行われます。

演習通報

危険ですから、演習場内には立ち入らないでください。陸上 11月1日、2日、4日、5日、7日~12日(7:00~22:00)...

各前募集中! ぼく、リサイクルのマスコットキャラクターです。いい名前をつけてみよ。

Table with columns for School Type (部), Student Name (名前), and Teacher Name (先生).

11月1日~30日 恵庭市家庭づくり運動月間

Photo of a person working in a field. 家庭づくり運動月間. 青少年表彰式、家庭づくり講演会、相談事業の推進など

次回の市長相談日は

11月24日です。時間 13時30分~15時30分(1人1組20分程度)

おはなし広場

Table with columns for Date (日), Time (時間), and Program (出演).

おはなし広場 2歳もたちに聞かせたい. 図書

検診料 子宮がんII、600円 乳がんII、1,000円. 検診会場 対がん協会検診センター(札幌市/バスで送迎します)

市税 Q & A

恵庭の市民税は高いの……? 私は、昨年A町から恵庭市に引っ越ししてきました。

Table showing tax rates for different municipalities (A町, B町, C町, D町) and how they compare to the standard rate.

答 個人の市町村民税は、税金を負担する能方のある人が均等の額によって負担する均等割と、その人の所得金額に応じて負担する所得割の二つから構成されています。

掲載希望の方へ
記事の締め切りは1日号が前月の8日
お知らせ版が当月の2日です。

タウン情報

創立20周年記念講演
恵庭市民文芸の会

日時 12月3日(出)17時
会場 市民会館大講堂
講師 作家小橋山 博氏
演題 「文学と私」
会費 2,500円(当日納入)

あなただけの心に触れたい
「ボラ」や「まび」作業所
日時 毎週月・火・木・金曜日
9時30分~15時(都合の付く
時間で結構です)

「ステップ」も軽やかに
「すずらんダンス」愛好会
練習日時 毎週水曜日19時30分
~21時50分

チャリティー・ディナー・ショー
ソロブチミストの
素敵なお出逢い
とき 11月25日(金)
17:30開場
18:00開宴

社交ダンスで、心身のリフレッシュ
をしてみませんか。初心者
向けのレッスンを、一流講師
の指導も受けられます。

あなただけの心に触れたい
「ボラ」や「まび」作業所
作業内容 菓子箱折り・ドレミ
カード製作・ミシン掛け・生
地裁ち・アイロン掛け

ソロブチミストの
素敵なお出逢い
会場 市民会館
中ホール(3F)
会費 5,000円

ソロブチミストの
素敵なお出逢い
日時 11月16日(金)18時
※入場は無料

戦車群銃剣道競技会
公開します
日時 11月16日(金)18時
※入場は無料

弘法大師をめぐって
恵陽書道展
日時 11月17日(土)~20日(月)9時
~18時 ※ただし17日は13時

あなただけの心に触れたい
「ボラ」や「まび」作業所
日時 11月20日(日)10時から13時の間

道央写真展

未発表の作品で題材は自由
定規は全紙、カラーは四ツ切りか
ら全紙で、いずれもパネル張り、
または額装(ガラスは付けない)
の組写真は3枚以内、カラー四ツ
切りの組写真は、大きなパネル
または額装に納める。
応募は1人5点以内

コンテストを行います
出品料 1人2,000円
コンテストで入賞した作品は
12月2日から3日間、市民会館
で展示します。

「せんべい焼き」
練習会
日時 11月12日(土)10時~12時
会場 郷土資料館中庭

「せんべい焼き」
練習会
日時 11月15日(火) 友の家(千歳市桜木4)
11月16日(水) 市民会館
11月17日(木) 恵み野西会館
11月18日(金) 千歳市民文化センター

より、20日は17時までです。
会場 市民会館展示室(3階)
会費 無料
申し込みは17時までに

「せんべい焼き」
練習会
日時 11月15日(火) 友の家(千歳市桜木4)
11月16日(水) 市民会館
11月17日(木) 恵み野西会館
11月18日(金) 千歳市民文化センター

「せんべい焼き」
練習会
日時 11月15日(火) 友の家(千歳市桜木4)
11月16日(水) 市民会館
11月17日(木) 恵み野西会館
11月18日(金) 千歳市民文化センター



木目込人形
「きさらぎ会」

代表 川本 美佐子 さん



完成したときは、
みんなの顔が満足感で
一杯になります

木目込(きめこ)人形を作る
サトルで、今年二月に完成され
たばかりです。
会費は十五名で、毎月第一、第
四火曜日に代表の川本さんを講師
として、有明会館で作品作りを
行ないます。
木目込人形は、まず、あらかじめ
彫形が作られた木の型に、やす
りを丁寧にかけ、さし全体に
貼ります。次に、最初から彫って
ある溝に糊を入れ、きんさんなど
の布を、その溝と溝の間に入れる
と完成です。簡単そうに思えます
が、根気のいる作業で、サトル
では一つの作品を作るのに、短く
ても一月はかかります。
「完成したときは、みんなの顔が
満足感で一杯なんです。一度味
わろう、もう、やみつきです。こ
れからも楽しみたい、なごやかな
雰囲気が続いていきたいと思っ
ています。」と笑顔で話す川本さん。
興味のある方、入会希望の方は
川本さん(有明町33-0888)
5)へ

ルートス・ムジックコンサート Vol.2
田中美穂
ピアノリサイタル

とき 11月28日(土)
18:30開演
ところ 恵庭RBパーク
1F特別展示室
入場料 1,500円
券売所
恵庭RBパーク

プログラム
●J.S.バッハ
フランス組曲第5番ト長調 BMV816
●W.A.モーツァルト
ピアノソナタ KV330 3/8長調
●L.V.ベートーヴェン
ピアノソナタ第17番 二短調
Op.31-2「テンペスト」
他、F.ショパン、バルトーク

問合せ先 田中(337-3388)

第3回
子ども夢の劇場
ごんぎつね

とき 12月3日(出)
14:30開場
15:00開演
市民会館大ホール

出演
絵本サークルひだまり
恵庭少年少女合唱団
入場料 無料(整理券必要)
整理券は市民会館・公民館・
恵み野会館・図書館・たけや
ま書店・矢野書店・かしわ文
庫・博信堂(イトーヨーカド
ー店)にあります。

問合せ先 平賀(332-5216)

みんなの伝言板

恵庭RBパークでは
パソコン講座を開設します

パソコン講座

Table with columns: 区分, 開催日時, 定員. Rows include ロータス1-2-3/Win 初級コース and 1日目: ウィンドウズ入門.

対象者 パソコンに初めて触れる方から活用を考えている方まで
受講料 有料(詳細は、恵庭リサーチ・
ビジネスパーク36-3113へ)

子どもたちのための
海外交流のお知らせ

(財)国際青少年研修協会では、中・
高校生を対象とした「春休み海外派遣
事業」や、小学生を対象に「ちびっこ
探検学校ヨロコ島」を行います。詳し
くは、お問い合わせください。
問合せ先 (財)国際青少年研修協会
(〒160 東京都新宿区四谷2-11大村
ビル)03-3359-8421)

恵庭RBパーク
先端技術セミナー開講

日時 11月8日(火)15時~
会場 恵庭RBパーク3階視聴覚室
演題 「新食品開発用素材オリゴ糖の
製造について」
優れた機能性を持ち、疾病回復や健
康維持・増進にも効果が認められて
いる各種オリゴ糖について学びます。
講師 塩見徳夫氏(酪農学園大学食品
科学科教授・農学博士)
参加料 有料
申込み締切り 10月31日(月)
問合せ・申込先 恵庭リサーチ・ビ
ジネスパーク(36-3113)

譲ります
譲ってほしい

譲ります
▶歩行者
譲ってほしい
▶縦型餅つき器▶スケート靴(20cm)
▶スケート靴(16~17cm)▶クラブノ
ーバ▶アップライトピアノ▶半幅帯
▶B型ペビーカー▶バイク車庫(間口
270cm)▶ペビーカー
連絡先 広報広聴課(内線2234)

私のふるさと恵庭

町内の連携プレーで取りあげた
五・五ダムのジャンボ赤ちゃん

「いままで、何人赤ちゃんを取り上げたかって言われても、数えきれないですよ」
開口一番、そう言って、屈託なく笑うコトさん。
昭和二十三年から、現在まで四十七年間、助産婦をしている。
「今は病院で出産する人がほとんどだけれど、昔はみんな私たちの手で取りあげたものよ」

と、筋金入りの両手を出して見せた。今から二十数年前のこと。コトさんは、体重五千五百グラムの赤ちゃんを取りあげたことで話題になった。

「妊婦が大柄な方だったけれど、赤ちゃんの体重計ったときには、自分の目を疑ったわよ。北大の産科の先生が、三、四千例に一つのケース。」

「よく、取り上げたわ」と、ほめてくださった。そのかわり、私一人ではとても無理、隣近所の奥さんが手伝ってくれて、なんとか取りあげたのよ」
助産婦のほかに、看護婦や保健婦の資格を持っている。夜間診療所や保健活動などの仕事もした。また、昭和三十七年から、三十年間近く、修学旅行や福祉施設、老人クラブなどの研修旅行に看護婦として添乗。

「旅行中、宿泊先のお風呂でヤケドをした男子高校生を介抱した大変だったこともありま



井下田コトさん(74歳)
島松仲間在住。大正9年4月に札幌市琴似生まれ。昭和20年に恵庭に転居。昭和23年に助産婦として開業。以来、看護婦、保健婦として活躍。家庭は御主人と息子さん家族の5人暮らし。



ジャンボ赤ちゃんに湯を使う井下田さん(昭和47年当時)

でも、そのころ、お世話になった先生や生徒さんから、今も、手紙や葉書をいただくんです。それがうれしくて」と、目に涙を浮かべる。

助産婦の仕事は、時を選ばずやって来る。電話がかかって来ると、診察カバンを持って妊婦の所へ出かける。助産婦業が忙しかったのは、昭和二十年から四十三、四年ころだった。

「小学生だった息子が、作文に「お母さんは運動会のお登壇はん時に、赤ちゃんが生まれるので、出かけていった」と書かれたのはショックだった」
二人の子供さんも、いまはりっぱな社会人。

この三月に市内の方からぜひと頼まれて、赤ちゃんを取り上げた。「三日間くらいは身体が痛くて」と、笑うコトさん。

ついに念願の
漫画家デビュー

専業主婦の高校生がプロの漫画家としてデビューした。東京の出版社が行ったオーディションで、優秀賞に輝いた麻衣さん。先月二十四日に創刊された「まみとほく」に寄稿作を掲載。次号からの連載も決定している。
子供のころから。作文や絵画のコンクールで数々の賞を獲り、才能の片りんをみせてきた彼女。それとあわせ、漫画を描き続けるのが大好きというだけあって、四コマ漫画もスピードとリズム感にあふれている。
「小さいころからの夢がなって、とてもうれしい。これからも自分のペースでいろいろなものにチャレンジしていきたい」と抱負を話す。
今後は、道内の大学に進学し、自宅を漫画家としての活動の拠るとのこと。これからの作品にも注目だ。



フレッシュさん 掛水麻衣さん(17歳) ☆お座☆漫画家・高校生



私のお気に入り
My favorite things
陶器を焼く

食事の盛りつけをしていて、気に入った器がないとき、あなたならどうするだろう。普通なら、あらかじめ今ある器で我慢するか、買ってくるかのいずれかだ。ところが、自分で作ってしまうと考えた人がいる。



恵み野在住 澤すずこさん

「風花窯(ふうかがま)」。それが澤さんの名前で、恵み野の大学に進学している。若い時から和食器が好きで、買いそろえてはいた。備前焼の焼風の風合いが特に好きだった。

いつかは、自分で焼きたいと思っていたが、ご主人の転勤で北海道にやってくる。その気持がどどんと膨らんでくる。「本州では、私のような『その道の人』でない者が、趣味で窯を持つなんて、絶対できないんです。その点、北海道は何でも、誰でも受け入れ



人のうごき

平成6年9月末現在	61,356(+78)
●人口	30,988(+20)
●男女	30,368(+58)
●世帯	23,094(+60)

()は前月比

てくれる。本州のような、古い歴史や慣習がないからかもしれないけど、本人がやろうと思えば、できてしまうんです。北海道に家を建てたのも、そういう風土が、私たちに合っていたからかもしれません」と、澤さんは言う。まず、「南幌窯」に修業に入る。次に、北海道工業試験場の窯業の研修生になる。もちろん最年長だった。
一番神経を使うのは、やはり「本焼き」だ。十五時間から十八時間かけて、最高、千二百五十度まで温度を上げる。パーナーの炎の加減で、作品の良否が決まる。緊張の時間だ。
陶芸の魅力は、澤さんは「思いどおりにいく喜び、思いどおりにいかない励み」と表現した。陶芸に限らず、創作する人の共通の思いなのだろう。

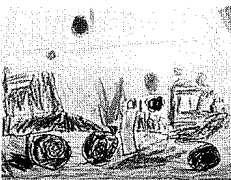
広報俳壇

晚酌のじいんと身に沁む独り勝
太田 てい三
待ら受け風が身に沁む終電車
大井 寿 栄
解禁日来て待好きの亡父遠し
澤 永 幸 女
新米を桃んで呑む夜の浦の味
坂 井 智 女
用意ダウン孫の手をとり天高し
小池 れい花

〔選者評〕三浦秋夫さん
大田さん、独り居の夕顔です。晩酌がじいんと身に沁み、秋の夜の寂寥感がたまたま。大井さん、約束の別荘がどうに過ぎているのに連れが現れない。秋の夜風が身に沁み、とうとう終電車になったと書くと、秋の狩猟解禁日が来て待好きだったと父を思い出している。父の姿はもう遠い。坂井さん、豊作の今年は積んだ新米も手巻え全分で減らした。夜の酒もさうまいことどうだろう。小池さん、秋天のもも孫さんの手をとって、「用意ダウン」は奪えればいいで、健康家族が見えてくる。

〔選者評〕
豊作の田に出払って雀留守
三浦 秋 甫

クラク幼稚園児作品
チビッコキョー



「しょうぼうしゃ」
中川建吾くん(6歳・戸磯)



「しょうぼうしゃ」
亀井里奈ちゃん(6歳・恵み野南)



「しょうぼうしゃ」
亀井里奈ちゃん(6歳・恵み野南)

My photo gallery



谷内庸祐さん(52歳)
恵央町在住

この写真は、昭和55年12月初め、オコタンベ湖の展望台から撮影したものです。この日はよく晴れ渡り、無風だったので、稜線が見事に湖面に写っていました。北海道のスケールの大きい山は、高知県出身の私を、すっかり、とりこにしてしまいました。私が山岳写真をはじめたのも、実は昭和51年に登った大雪山系黒岳の冬山に魅了されたからです。以来、恵庭岳、樽前山周辺を毎年写真に撮り続けています。しかし、この日のような好条件に恵まれることはめったになく、このアングルでは、この写真が一番気に入っています。

とじて保存しましょう

編集後記

■座談会出席者の浅野さんから、自衛隊員さんは町内会活動に協力的だけれど、市職員は積極的でないとの発言にドツキリ。「基地のまち」として全国的に有名な恵庭。隊員さんと地域の関係も深く、大きなものがある。私も市職員として、ごみのリサイクルあたりから協力しなくてはと思う昨今である。(嘉)

■編集作業が追い込みの毎月末は、だいたい帰宅が遅い。でもなぜか十月末のある日、仕事が早く終わった。六時に家に帰ったが、誰もいない。しばらくして、妻と娘がおなかを突き出して帰って来て言った。「あ、回転寿司を食べ過ぎて、苦しくて動けない。あつ、お父さんのおみやげもあるんだから」と、バックからおみやげを取り出す。その夜、私はつぶれた「納豆巻」ひとつ、娘の食べかけの「味噌カツ巻」を食べた。一家の主として、せめて「エビマヨネーズ巻」にしてはよかった。(橋)

■表紙の写真は北恵庭駐屯部隊隊員佐藤康裕さん(23歳)です。佐藤さんは地元の高校を卒業し、自衛官として今年で五年目。「もし、ルワンダに派遣されたら？」という質問に「任命されたら、困るために頑張りますよ」と、キツパリ。



この広報誌は再生紙を使用しています。

SENIWA



えにわ

1984-11

■発行・編集／恵庭市役所総務部広報広聴課
☎0123-33-3131内線2232・2233
〒061-14 北海道恵庭市京町1番地

■通巻 508 号
■印刷 刷／恵庭協同印刷(株)